

第 19 回鶴川駅南口街づくり検討会 会議要旨

日 時：2014 年 8 月 30 日（土）午前 10 時～正午

場 所：和光大学ポプリホール鶴川 3 階会議室

出席者：17 名（地権者：15 名／その他：2 名）

町田市：吉原担当課長、加藤係長、森本、船岡

コンサルタント：パシフィックコンサルタンツ株式会社（桑山、村井、近藤）

【次第】

1. 地区内道路検討プランの比較
2. 土地建物利用イメージの検討・意見交換
3. 次回の検討会について他

【議事】

0. 冒頭

- 「鶴川駅南側街づくり検討会」を「鶴川駅南口街づくり検討会」に名称を変更する。
（事務局）駅の改札は北口・南口で分けており、駅前広場の話をするときも、北口・南口と話している。地権者や駅利用者の方々にもわかりやすいと思い、名称を変更したいが良いか。
（出席者）異論なし。

1. 資料説明

（1）地区内道路検討プランの比較

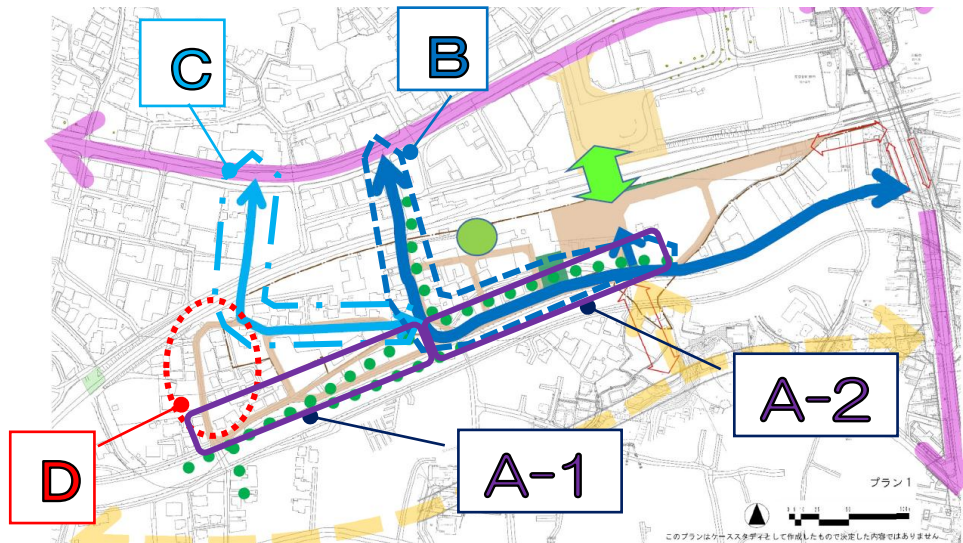
- 前回検討会で提示した、東と西を川沿いの道路でつなぐ案（2 案）について、検討会において出された意見を踏まえて整理しました。（P2－P7）
- 上記を踏まえて、道路計画の基本的な考え方を整理しました。
 - ・駅アクセス道路（P8－P9）
→真光寺長津田線から駅前広場への路線バス等の交通を流す道路
 - ・主要生活道路 1（P10－P11）
→南口地域と芝溝街道を連絡するための道路
 - ・主要生活道路 2（P12－P13）
→西側エリアの生活の軸となる道路
- 第 20 回検討会では道路の基本的な考え方を取りまとめます。

（2）土地建物利用イメージの検討・意見交換

- 都市計画マスタープランや現在のバス路線の現状を踏まえて、鶴川地区における駅周辺の役割（市の副次核）について説明。（P16－P29）
- 駅周辺の土地利用のあり方や整備内容の考え方などに関し事例を交えて説明。（P30－P41）

2. 質疑応答・意見交換

○資料説明について質疑応答及び意見交換を行った。(意見対象の場所は図面参照)



図：意見対象の場所

A-1 鶴見川と管理用通路（西側）

(意見) 管理用道路は車が通れる道路になるのか。

(市の考え) 歩道をメインとした道路を考えてはどうか。

(意見) 川の自然、住環境が変わるような道路はいらない、今の遊歩道で十分である。

(意見) 駅前の方とこちらの住宅地とは事情が違うことを念頭に置いて考えて欲しい。

(市の考え) 地域の軸となる道路は必要ではないか。

A-2 鶴見川と管理用通路（東側）

(意見) 管理用通路のすぐ横に道路をつけるのか。また、川沿いの管理用の4m道路に加え6mの道をつけるのか。

(市の考え) 歩道は、駅前までつなげて行くべきなので、管理用通路を含め道路を拡げていってはどうか。

(市の考え) また、駅前の道路は歩道と車道を分離した道路にすべきなので、管理用通路も同様のものにしてはどうか。

(意見) 主要生活道路1は現道拡幅でなく、桜並木を潰して新たに道路を作るということか。

(市の考え) 街区や土地の有効活用の観点から川沿いに道路を通すことを提案する。

(意見) 管理道路と6m道路ができると、現道は要らなくなるのではないか。

(意見) 現在の道路はなくなるのか、川沿いの家はほとんど引っかかるのではないか。

(市の考え) 厳密な位置関係は今後の検討となるが、今は南北（東西）の軸を整備することが必要という提案である。

B 主要生活道路 1

- (意見) 現道拡幅ではなく、新しく道路を作るのか。
- (市の考え) 厳密な位置関係は今後の検討となるが、今は東西の軸を整備することが必要という提案である。
- (意見) 現道拡幅と考えていた方が多く、新しい道路を作る案だとはっきりした方がよい。
- (市の考え) 説明がなくわかりにくいので、確定案ではないという説明を入れる。
- (意見) 道路は芝溝街道渋滞対策であり、抜け道になってしまう可能性もあるではないか。また、渋滞している柿生陸橋も整備が進めば解消されるので、西側は緑と環境を重視した検討を進めてもらいたい。
- (市の考え) 抜け道ではないが、交通は増えると考えられるため 1 号踏切を歩車分離にするなど検討を進める。

C 主要生活道路 2 (もしくは西側エリアの意見)

- (意見) 6 mに広げるといった話が出たのはいつごろか。
- (市の考え) まだ幅員はこれから決めることであり、最低限 6 mは必要かということである。
- (意見) 拡幅する場合、歩行者中心の道路にするのか、車を通す道路にするのかというのをしっかりと考えていただきたい。
- (市の考え) 今後の議論が必要なことは、4 mでいいのかという部分である。
- (意見) 救急車などの緊急自動車の進入については現状で、岡上を回って入って来れば問題はない。
- (市の考え) 緊急を要することであり、防災の観点からも主要生活道路は必要であり幅員については東西の性質が違うので議論は必要である。
- (意見) 6 mの道路を作るというのはどこに当たるのか。家が建っているところか。
- (市の考え) この計画では家が建っている部分も少し入る。

D 鶴川 2 0 3 号線 (大正橋から 2 号踏切まで)

- (意見) 道路は車も通すのか人のみか。住民にとっては車利用の不便は感じていない。
- (市の考え) 車の通行と人の通行の両方を想定している。生活道路についても、将来にわたって車が全く通行できないのは如何であろうか。緊急自動車についても直接アクセスできる方が望ましいのではないかと考えている。
- (意見) 2 号踏切の道路も緊急車両が絶対に入れなくて困ったというとはない。
- (市の考え) 今後の議論が必要なことは(軸としての道路が) 4 mでいいのかという部分である。

下水道（大正橋から2号踏切まで）

（意見）鶴川203号線の下水道の進捗状況はどうか。

（市の考え）下水道担当から聞いた話で、本年度は基礎調査に入るというのを聞いているが、入る時期は未定である。

（意見）予算は取れているのか。

（市の考え）予算の取り方は、下水道整備で全体的に確保し、その中で優先事業から入ることになる。

今後の予定について

（意見）具体的な整備はいつごろなのか

（市の考え）今後2年で事業に対して合意を得ていきたい。その後、区画整理や道路計画などの事業計画に入っていく予定である。

3. 次回の検討会について

○次回の検討会は10月18日の土曜日を予定している。時間は午前10時から、場所は同じ3階の会議室を予定している。

以上